1 研究主題

- 【主題】 持続可能な未来社会の創り手を育て、
ウェルビーイングの向上を目指す留萌の小中学校づくり
- 【副題】 校長のリーダーシップを基盤とした、未来志向の学校経営を図る校長の手立て

2 研究推進の概要

- (1) 第72回留萌管内小中学校長会教育研究協議会【令和6年8月9日（金）】
- ・全日中プレ提案 <提案者> 田谷 典久（港南中）
 - ・研究の趣旨説明 <研究部長> 西山 智章（羽幌中）
 - ・研究部提言発表 <研究部員> 西條 直志（緑丘小）
 - ・研究協議（グループワーク）*全会員の作成レポートを基にした実践交流
 - ・講評・助言 北海道教育委員会留萌教育局義務教育指導監 村元 隆一 様
- (2) 道中・全日中研究大会への参加（提言・提案）
- 第65回北海道中学校長会研究大会 十勝大会【全日中提案説明】9/27(金)～28(土)
- 第75回全日本中学校長会研究協議会 岩手大会【提案】10/16(水)～18(金)
- <提案者>田谷 典久（港南中） <司会者>西山 智章（羽幌中）

3 研究の成果と課題

【成果】

- ①今年度から新たな研究テーマを設定し、その基本となっている「教育振興基本計画」のコンセプトでもある「ウェルビーイングの向上」について、全体でその必要性の理解について浸透を図ることができた。また、研究部提言や各自の実践レポートにおいては、学校経営における校長の関わりや手立てが明確化されており、今年度の研究協議会の「校長としての経営手法を明らかにし、スキルアップを図る研修の場にする」という目的を達成することができた。
- ②グループワークにて各自のレポートを基に、成功例や失敗例を含めた経験や望ましい経営の在り方、各学校が抱える課題やその対応策など、多様な観点からの交流をすることができ、各校長の経営手法を広げることができた場になった。

【課題】

- ③「ウェルビーイング向上」について、具現化された学校の姿や子どもの姿、さらには、校長としての手立て（リーダーシップ・マネジメント）などについての具体が明らかになるような研究にしていきたい。また、子どもたちの学びに関して「持続可能な未来社会の創り手」という観点も、これからの学校教育に求められる大切な要素として捉え、ウェルビーイング向上と並行して追究していかなければならない。
- ④次年度も5つのテーマと2つの視点（リーダーシップ・マネジメント）をクロスさせつつ、グループワークを中心に研修を深めていきたい。特に、2つの視点については、次年度の各自が作成する実践レポートにも位置付けてもらい、本研究協議会がコアとなって会員相互の校長としての資質能力向上を図る一助になるとよい。

1 研究主題

- 【主題】 持続可能な未来社会の創り手を育て、
ウェルビーイングの向上を目指す留萌の小中学校づくり
- 【副題】 校長のリーダーシップを基盤とした、未来志向の学校経営を図る校長の手立て

2 研究主題設定の趣旨

昨年度から引き続き、「教育振興基本計画（第4期）」を基本としつつ「学習指導要領」及び「令和の日本型学校教育」の具現化を研究のコンセプトとして主題・副題を設定した。

また、現在は、現行学習指導要領が概ね「折り返し地点」となっているため、管内小中学校において、『現行学習指導要領のゴールにどこまでたどり着くことができたのであろうか？』を実践型研究の指標としている。さらに、「持続可能な社会の創り手を育てる学校づくり」「ウェルビーイングの向上を目指す学校づくり」への手立てを追究することが私たち校長にとって急務の課題となっていることから、本研究コンセプトの2つの柱としたものである。

3 研究内容

(1) 基本方針

- ①「教育振興基本計画（第4期）」における「5つの基本的な方針」を基に、教育研究協議会にて、研究部提言及びグループワークを行う。グループワークでは、コンセプトに応じた実践を全会員がレポートにまとめ、グループ内での交流を図る。
- ②年度ごとの成果と課題を基に、各校長は翌年の実践に生かすものとする。

(2) 研究期間

教育振興基本計画（第4期）はR5～R9のため、R9までは教育研究協議会を核として、成果と課題を振り返り、翌年度の取組を修正することを原則とする。ただし、この先の教育情勢によっては、主題や研究内容の大幅な変更の可能性もある。

4 研究推進計画

4月	研究部から「研究の手引き（研究内容、実践レポート作成要領）」を全会員に提示
5月	会員は「5つのテーマ・2つの視点」に応じた実践レポート作成を開始
7月	レポート集約（会員→研究部）
8月	第73回留萌管内小中学校長会教育研究協議会の実施（8月1日）
12月	研究のまとめ（成果と課題）を追加したレポートの集約（会員→研究部）
2月	年度のまとめ（研究の成果と課題、次年度に向けて） ※研究収録の発行

5 研究組織

- (1) 留萌管内小中学校長会研究部-----研究協議会を核とした全校長会員による研究活動
 - (2) 市町村校長会研究部 -----管内校長会研究部と各市町村研究部との連携
 - (3) 留萌管内教育研究団体連絡協議会 ---管内校長会と管内各研究団体等との連携
 - (4) 道中プロジェクト委員会（R8 胆振大会に向けての提言準備組織）
- ※ 道小(R7)・全連小(R8)プロジェクト委員会（準備活動への協力：研究部）

6 その他

今年度より本校長会の活動の足跡として研究部が編集していた「和心一統」（冊子）の内容をスリム化し、「研究収録」として発行することにした。